



議会だより

令和 5 年 5 月 1 日発行
 発行 青森県上北郡横浜町議会
 〒039-4145
 青森県上北郡横浜町字寺下35
 電話 (0175) 78-2111
 F A X (0175) 78-2118
 編集 議会広報編集委員会



百目木地区の耳吊り作業

撮影日：令和 5 年 4 月 6 日

●令和 5 年度一般会計予算 P 2
 予算総額40億7,800万円 前年度比 3 億5,800万円の増

●第 1 回定例町議会 審議した内容 P 4

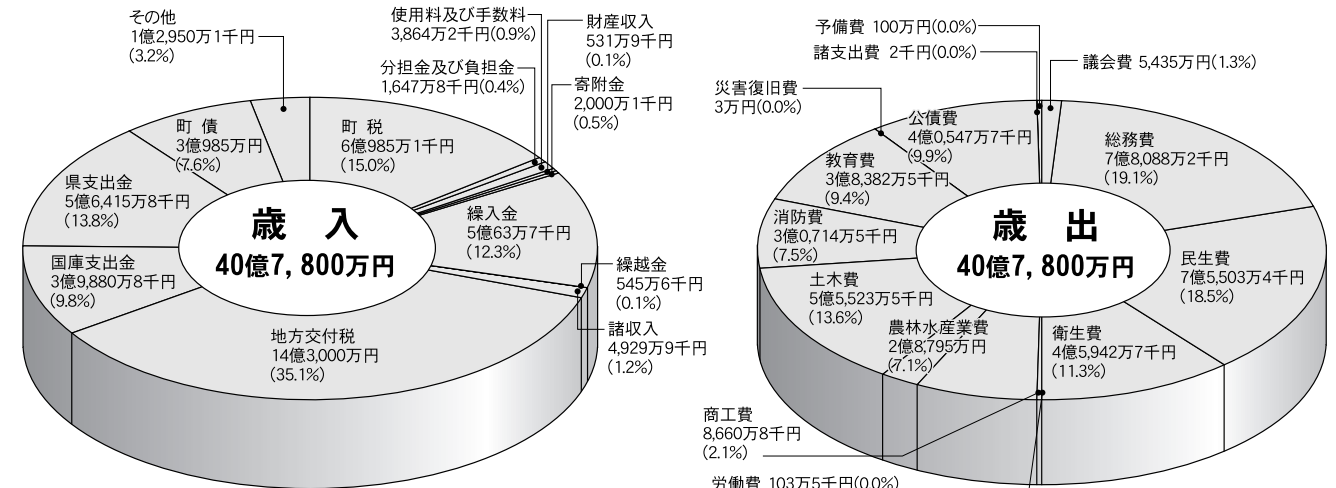
●一般質問 P 6
 一般質問に 2 人登壇 北館英輝議員、沖津正博議員

●予算審査特別委員会 P 8

令和5年度横浜町一般会計予算 40億7,800万円で成立

(前年対比で3億5,800万円の増、増減率は9.6%の増)

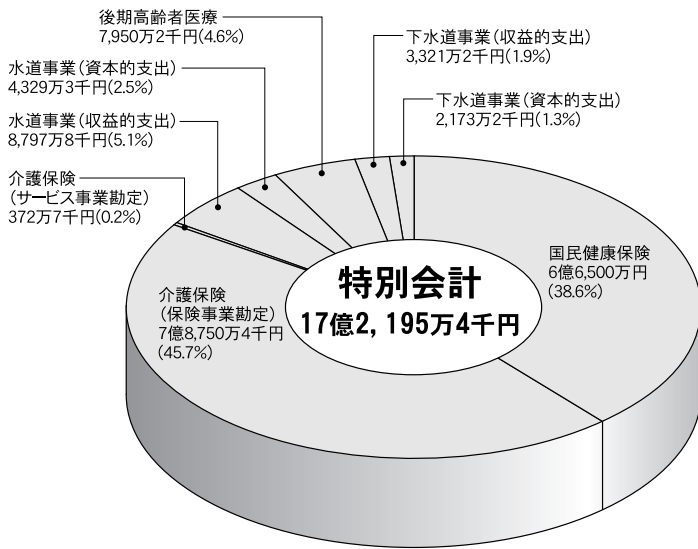
一般会計



■ : 自主財源 30.5% 12億4,568万3千円 (25.1%増)
□ : 依存財源 69.5% 28億3,231万7千円 (4.0%増)

町民一人当たり 957,727円使われます (104,711円増)

特別会計



令和5年度町政運営方針

全国的に人口減少や少子高齢化が進み、また、物価上昇による家庭や経営への影響や、更には、地球温暖化による環境への影響など、当町における社会環境も極めて厳しい状況が続いております。

このような状況の中、学校給食の無償化や保育料の完全無償化、高校生までの医療費の無償化などを継続して実施し、

また、出産祝い金の交付については、これまでは第2子以降から支給していましたが、第1子から給付することとしております。

産業の振興では、農産物の生産を支援するため、馬鈴薯・りんご等の助成金やナタネ助成金を継続し、また、担い手の減少や高齢化が進んでいることから、先端技術の実証を通じたスマート農業に係る機械等の導入を支援していくこととし、漁業では、百目木漁港の航路等を浚渫するなどの漁港機能の保全を行い水産基盤の安定を図ってまいります。

次に環境への取り組みとして、令和5年度は、地球温暖化対策実行計画を策定し、横浜町として脱炭素化社会を実現すべく取り組み、防災面では水害の発生を未然に防ぐため河川の整備を行うなど、環境対策や防災にも努めてまいります。

また、「原子力立地給付金」の一部により電気料の還元を再開し、物価高騰による町民の負担軽減を図るなど、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

◆重点事業 今年の目玉ピックアップ!◆

総務課・企画財政課関連

・防災行政無線戸別受信機設置工事	1,650万円
・がんばる団体活動助成事業 (50万円×3団体)	150万円
・元気な町内会活動助成事業 (30万円×8団体)	240千円
・結婚新生活支援事業補助金	90万円



福祉課・健康みらい課関連

・社会福祉協議会運営事業補助金	1,723万円
・出産祝い金 (第1子から10万円を給付)	300万円
・シルバー人材センター運営事業補助金	919万9千円
・子ども医療費助成事業	1,100万円
・予防接種・結核検診委託料	970万円
・健康診査及び各種がん検診	2,129万円

産業振興課・農業委員会関連

・スマート農業等普及推進事業費補助金	500万円
・なたね助成金	570万円
・中山間地域直接支払交付金	2,526万1千円
・ホタテガイ残渣処理補助金	150万円
・地域商業活性化事業補助金	300万円
・菜の花フェスティバル運営事業費	2,495万5千円
・ふるさとのまつり運営事業費	896万円
・商工会運営費補助金	290万円

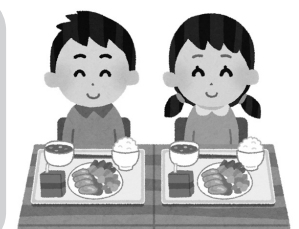


建設水道課関連

・吹越川調査設計業務委託料	2,500万円
・吹越川河床掘削工事費	5,000万円
・町道向平1号線道路改良工事	9,850万円
・新町鶏ヶ唄線防雪柵更新事業工事費	5,000万円
・町営住宅建設工事費	1億6,500万円
・下水道事業負担金	2,071万4千円
・除雪作業委託料	3,500万円
・横浜地区水産物供給基盤機能保全事業	7,405万円

教育委員会・給食センター関連

・ふれあいセンターキュービクル取替工事	3,110万円
・スクールバス運転業務委託料	3,600万円
・中学生海外体験学習事業補助金	547万円
・学校給食費補助金交付事業	1,115万8千円



令和5年 第1回定例町議会

3月定例会は、3月6日(月)から10日(金)までの5日間の会期日程で開会し、日程を1日繰り上げて閉会しました。

初日に、町長の提案理由の説明があり、報告及び承認1件、条例10件、組合規約の変更1件、過疎地域持続的発展計画の変更1件、補正予算5件、当初予算6件の合計24案件を慎重審議し、原案のとおり承認、可決しました。

一般質問には、北館英輝議員、沖津正博議員の2人が登壇し、「マイナンバーカードの交付率と町民への対応について」、「漁業者支援と産業戦略協議を求め」についてなど、多方面にわたり論戦を展開しました。

予算の主な内容

◆令和4年度横浜町一般会計補正予算(第7号) 専決処分

歳入歳出それぞれ550万円を追加し、予算の総額を42億4,642万3千円とする。

⇒イワシの漂着に伴う海岸漂着物対策推進事業費の増額によるもの。

◆令和4年度横浜町一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出それぞれ1億2,229万4千円を減額し、予算総額を41億2,412万9千円とする。

歳入(主なもの)

・地方交付税 3,797万4千円増額 ・財政調整基金繰入金 1億992万2千円減額

歳出(主なもの)

・臨時消費拡大支援給付事業費 230万3千円減額 ・道路維持改良費 4,352万円減額
・農業振興費 386万2千円減額 ・住宅建設費 1,077万8千円減額
・新型コロナウイルスワクチン接種事業費 173万5千円増額

◆令和4年度特別会計補正予算

・国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ528万円を減額し、予算総額を7億209万4千円とする。

・介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ1,363万5千円を減額し、予算総額を8億2,725万4千円とする。

・後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ240万6千円を追加し、予算総額を6,026万9千円とする。

・百目木地区農業集落排水事業特別会計

予算の総額に増減はありませんが、財源の調整を行い、予算の総額は3,431万円とする。

審議した議案の結果

3月定例会で審議した議案とその議決結果です。(審議した順に掲載)

議案番号	議案名	審議結果
承認第1号 (専決第1号)	専決処分した事項の報告及び承認を求める件について (令和4年度横浜町一般会計補正予算(第7号))	承認
議案第1号	横浜町個人情報保護に関する法律施行条例	全会一致で 可決
議案第2号	横浜町個人情報保護審査会条例	
議案第3号	横浜町情報公開条例の一部を改正する条例	
議案第4号	横浜町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例	
議案第5号	横浜町納税奨励条例を廃止する条例	
議案第6号	横浜町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	
議案第7号	横浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例	
議案第8号	横浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
議案第9号	横浜町道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	
議案第10号	横浜町自然体験ランド設置条例の一部を改正する条例	
議案第11号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び青森県市町村総合事務組合の規約の変更について	
議案第12号	横浜町過疎地域持続的発展計画の変更について	
議案第13号	令和4年度横浜町一般会計補正予算(第8号)	
議案第14号	令和4年度横浜町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	
議案第15号	令和4年度横浜町介護保険特別会計補正予算(第4号)	
議案第16号	令和4年度横浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	
議案第17号	令和4年度百目木地区農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	
議案第18号	令和5年度横浜町一般会計予算	
議案第19号	令和5年度横浜町国民健康保険特別会計予算	
議案第20号	令和5年度横浜町介護保険特別会計予算	
議案第21号	令和5年度横浜町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第22号	令和5年度横浜町下水道事業会計予算	
議案第23号	令和5年度横浜町水道事業会計予算	

発 議

件名	審議結果
普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全保障を求める意見書	可決

陳 情

件名	審議結果
庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	議員配布
民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情	〃

町政を問う 一般質問

3月定例会

北館英輝 議員



マイナンバーカードの交付率と町民への対応について

質問

マイナンバーカードの取得に関しては、広報等でPRしながら3月までに多く

の取得を目指したいということでした。

政府は地方交付税について「地域デジタル社会推進費」のマイナンバーカード利活用特別分によるカード交付率に応じた算定を行うとしています。

マイナンバーカードの取得はあくまでも国民の申請に基づき任意であり、個人の意思に任ざれております。

現在1月時点での人口に対する交付枚数率と上位3分の1の自治体に対し、交付税の割増をする方針ですが対象になるのか伺います。

答弁

令和5年度の普通交付税算定におけるマイナンバーカードの交付率の把握は、使用可能な最新の数値を用いるとされており、今後、算定内容が示されることにより上位3分の1の対象になるかどうか、また、割増率なども反映される予定であります。

質問

マイナンバーカードと保険証を一体化し、2024年秋に廃止の予定ですが、保持しない町民が各種制度上不利にならないのか。また、保険証とマイナンバーカードを一体化した場合、紛失時の取り扱いは。

答弁

国では、カードを持たない人やカードを紛失した人も保険診療を受けられるよう、保険証の情報が記載された「資格確認書」を無料発行するとしており、また、現行の保険証も1年間は有効とするとしております。

資格確認書の有効期限は、発行から1年以内とし、期間終了後の更新やカード未取得者のほかに、紛失した場合の再発行を1週間以内、最短5日にする「特急発行」を2024年秋までに始めるとしております。

今後とも、マイナンバーカードの利用促進と交付率の向上を推進してまいりたいと考えております。

沖津正博 議員



漁業者支援と産業戦略協議を求め

質問

ホタテのへい死被害は深刻で、今年の稚貝の生育と生存がそのまま養殖漁業者の生死を分けるといっても過言ではありません。

平成22年に高水温被害が湾内で発生し、県では再生産、共済金融、雇用、生活支援などの対策を2年間にわたり施しました。町でも、ほたて共済掛金の補助をスタートし、漁場清掃支援、国保税減免を行いました。

今般において、必要なホタテ業者への支援を求めます。限界値を超える高水温が流れれば、実際には防ぎ

ようがなく、漁法も「指導の通りやっているが死んでしまう」と漁業者は非難にくれています。さらにはナマコの不漁問題も追い打ちをかけています。

今できることは、漁協と町とが課題や方法を共有し共に目標を定め、相互に補完し連携を深めていくことが何より重要ではないかと考えます。

答弁

議員ご指摘のとおり、今後水揚げ予定のホタテのへい死状況は非常に心配されるところであり、漁協とは、県の陸奥湾ホタテガイ実態調査や陸奥湾地区水産振興研修会等を通じて情報共有を図っており、現在の支援としましては、共済掛金の補助はしておりますが、今後におきましても支援が必要な状況となった場合には、対応を検討してまいりたいと考えております。

質問

今後の展望を切り開く漁協との定期協議が必要と考えますが、町の対応を求めます。

答弁

協議が必要な案件がある場合にはその都度連絡を取り合いながら対応しており、今後におきましても同様の対応を続けながら、定期協議が必要であれば対応していきたいと考えております。

質問

農協、商工会、県の指導機関などそれぞれにおいての定期協議も行い、町の総合計画をより具体化するための「戦略」を打ち出していく必要があると思いますが対応を伺います。

答弁

協議案件がある場合には、その都度連絡を取り合い対応しており、今後定期協議が必要であれば対応してまいりたいと考えており

ます。

また、「戦略」の打ち出しにつきましても、その都度の協議により各産業団体の意向も受け止めながら、可能な限り総合戦略に沿った町づくりに努めたいと考えております。

除雪弱者への支援を求める

質問

高齢者の増加に伴い、「道路除雪後の雪の処理に困っている」、「一人暮らしの屋根の雪が下せない」、「排雪したいができない」など苦情が増えています。

現在の社会福祉協議会の行う除雪サービスには心から労うものですが、その対象外になる場合も多く、業者には依頼するには年金生活者には厳しくなっています。

現業の除雪サービスの拡充や除雪費の支給、有償ボランティアの拡充とマンパワーの確保など除雪弱者への支援を求めるものです。

大雪対策が地域が支え合う高齢者の見守り、生きがい、小遣い稼ぎ、地域防災

力の向上や安心できる地域づくりになるものと考え、町の対応を伺います。

答弁

高齢者への除雪サービス支援であります。当町では、社会福祉協議会で軽度生活援助事業により、一人暮らし世帯及び高齢者のみの世帯などで、自力で除雪作業が困難な方や、他に雪片付けを頼める人がいない方を対象に、12月から2月末まで有償ボランティアである「ゆいネットクラブ会員」で除雪サービスを実施しており、ボランティアの不足が生じた場合は、シルバー人材センターと調整しながら、除雪サービスを行っております。

町でも、有償ボランティアやシルバー人材センターの人材確保のため、各町内会長や民生委員等から情報をいただけるようなネットワークづくりが必要と考えており、来シーズン以降の除雪サービスに向け、社会福祉協議会と連携強化を図り、支援に努めてまいります。

す。

さらには、一人暮らしの見守り活動やシルバー人材センターでの就労の場を提供し、高齢者の健康づくりと生きがいを感じるような地域づくりに取り組んでまいります。

大湊線存続に向けた活性化の対応を求める

質問

現在大湊線の運行は、朝夕の通学通勤時間を除く日中の有煙吹越駅停車が上り1本しかありません。新幹線八戸駅からの下りの連携では野辺地で大湊線に乗り継ぐ場合、最大2時間待ちになり、しかも横浜駅しかとまらない場合もあります。不便がさらに必要の妨げになっているケースもあると感じます。潜在需要がどの程度あるのか確かめることも肝要です。

町の横浜駅舎取得は、駅舎活用の活性化と同時に存続対策に貢献できるものと踏んでのことと思います。アンケートなどで住民の意

向やアイデアを募り、把握することも含め、駅舎活用と同時に大湊線存続への対応を求めたいと思います。

答弁

町は、令和4年12月22日に「JR大湊線活性化協議会」が設立され、その構成員となっております。

当協議会は、大湊線に係る調査・研究及び利用促進並びに大湊線沿線及び周辺地域の活性化を図ることを目的とし、今後は、具体的な活性化策の検討・実施に取り組んでいくこととしております。

また、JRからの陸奥横浜駅舎譲渡に関しては、「陸奥横浜駅舎利用活用検討委員会」を設置し、陸奥横浜駅及びその周辺の利活用について検討しております。

今後とも駅舎譲渡及び活用も並行しながら、大湊線の存続に向け、利用促進と周辺の活性化について取り組んでまいります。

予算審査特別委員会

令和5年度の一般会計及び特別会計予算は、
予算審査特別委員会（大澤弘悦委員長）に付託し審議しました。



大澤弘悦 委員長

予算審査特別委員会は3月8日から9日の2日間開催しました。令和5年度当初予算案について慎重に審査し、大澤弘悦委員長から本会議にその内容を報告しました。

【主な審議内容】

（歳入）

企画 財政課

問 各自治体を見れば、ふると納税の返礼品が創意工夫されています。横浜町ではどんな工夫をしているか。

答 横浜町では、ホタテ・はちみつ・ファームさんの

お肉が上位を占めております。ホタテにしてもなまこにしても漁獲が下がっており、返礼品としては一時休止している状況です。できるかぎり横浜町の返礼品を使ってふると納税を増やしていきたいと思えます。

問 電源立地地域対策交付金が減額になっている理由と、今後どのくらい減るのか。

答 電源立地地域対策交付金につきましては、例年とほぼ同額です。ただし、電気の還付に支出となつてその分が減ることになります。

また、ほとんどが人件費に係るものの支出及び基金への積立となつておりますので今後同様の対応となる予定です。

（歳出）

総務課

問 防災関係ですが、自主防災組織があるのか。また、自主防災を組織していく方向で、仮に自主防災組織がなくても防災の装備が必要だと思いませんか。

答 自主防災組織についてはですが、現在町では4つの自主防災組織がありまして、防災は自助の次に共助が必要だと思っておりますので、この組織をもっと増やすべく今後も町として働きかけていきたいと思えます。

また、防災備品の更なる装備の範囲につきましても今後検討していきたいと思えます。

問 町内でWiFiが使えるところを増やしてほしい。

答 WiFiの設備については、公共施設、役場、ふれあいセンターでもWiFiは繋いでおります。観光面についてもいろいろ精査して今後検討したいと思えます。

企画 財政課

問 地域おこし協力隊の募集状況は。

答 今年度申請があり、面接を行い内示を出しましたが、相手方から辞退の申出がありました。今後も引き続き募集をしていきたいと思えます。

問 婚活イベントについて今年は開催されるのか。また、メンバーは。

答 コロナで2～3年間開催できませんでしたが、令和5年度にはイベントも数種類考えて実施に向けて検討委員会を行っております。構成員については、農協、

漁協、商工会、役場職員で実施に向けて検討していません。

問 誘致企業の取り組みを進めて欲しい。

答 特に誘致企業の取り組みは行っておりませんが、出来る限り再生可能エネルギーの事業者につきましては、町内でできるようお願いをしています。

産業 振興課

問 なたね助成金570万円ですが、内訳は。

答 今までも継続してやっている内容でありまして、60kg当たり1,930円の上乗せ助成をして手取りを増やし、経営の安定に努めていただく内容です。

問 コテージをペット同伴可にしてはどうか。

答 宿泊者の方の動物アレルギー等も懸念されますので難しいと考えております。

問 コテージの近くにドッグランを作ってはどうか。

答 今年度、課の方で検討はしましたが結論は出ておりません。引き続き検討したいと思います。

問 移住支援金について、どのような方がもらえるのか。

答 関東圏から来られた方で、県が指定した就業場所で就業する場合についての移住支援金ですが、対象者がいないのが現状です。



健康 みらい課

問 がん検診について令和5年度の取り組みは。

答 今までは単独で受けるがん検診は今まで1つ200円の自己負担をいただいていた。令和5年度からは無料で受けることができます。できるだけPRして多くの方に受けていただくよう進めたいと思います。

問 医師確保対策事業の事業内容は。

答 青森県への負担金として各市町村が県内で定着する医師を確保するため、あるいは見学からでも青森県に医師として定着する志のある者等へ対しての奨学金として負担しているものです。

教育 委員会

問 子どもの県大会や地区大会等ありますが、交通費については親御さんが出しているようです。東北大会なんかに比べると親御さんの負担も大きいと思うが、補助金等はないのか。

答 大会に出場した子どもたち、また、親御さんの経費の2分の1を補助しております。

問 横浜小中学校入学助成事業補助金の内容は。

答 新しく入学する1年生への体操着1着分の補助になります。

問 文化財の関係で、役場前のケヤキも文化財になっているわけで、案内板を置いたり、ぜひ文化財の保護に力を入れてほしい。

答 役場のケヤキについてですが、もちろん文化財と

いう看板は立てておりません。だいたい字が見えなくなってきたので、しっかりと色を入れて目立つような対策をしております。

問 烏帽子平自然の家の利用状況は。

答 しばらくコロナの関係で登山の利用客も少なくなっております。現在は町内会の冠婚葬祭での利用のみとなっております。



横浜町議会の主な動き

令和5年

- 2月20日 産業民生常任委員会
- 2月21日 総務教育常任委員会
- 2月24日 議会運営委員会
(第1回定例町議会)
- 2月28日 全員協議会
(1)横浜町地域防災計画の修正
について
(2)エネルギー構造高度化・
転換理解促進事業について
(3)横浜町過疎地域持続発展計
画の変更について
(4)横浜町教育大綱の改訂につ
いて
- 4月14日 広報編集委員会

長年の功績と貢献により 自治功労賞を受賞



大澤弘悦 議員
(議員19年以上)

橋本 円 議員
(議員19年以上)

青森県町村議会議長会表彰

議会を傍聴しませんか

町の動きを知るよい機会です。
多くの方が町政に関心を持ち、議会を傍聴する
ことが議会活性化の一つです。

3月定例会の傍聴者は10人でした。
次の定例会は6月の予定です。
みなさんの傍聴をお待ちしております。
(詳しくは議会事務局まで)

みなさんの声をお聞かせください

町民の皆さんに親しまれる
紙面づくりを目指し、ご意見、ご要望
(傍聴された方のご意見も合わせて)
お待ちしております。

議会広報編集委員会
TEL78-2111 内線430・431

広報編集委員会

委員長 沖津正博
副委員長 野坂浩二
委員 秋田誠二
菊地英史
北館英輝

これまで、行事や企画が少
なく議会広報も写真不足など
に悩まされてきましたが、「読
まれる広報」を目指し探っ
てきたつもりです。
コロナが地球を飲み込み、
未曾有の不況や面会禁止な
ど、社会常識を覆しました。
コロナ共生の中で一層医療・
介護の充実と、地域の絆が求
められると感じます。過疎化
の中にも「横浜ぐらし」が少
しでも快適になるよう委員一
同励む所存です。

(沖津正博)

編集後記

3年ぶりの菜の花フェス
ティバルの開催など、町もよ
うやくコロナ感染から解放さ
れつつあります。